

# 平成29年度 歯科衛生士実態調査

## 組織・調査部

大阪府歯科衛生士会では、毎年「歯科衛生士実態調査」を行っております。今回は平成29年7月30日に開催されました学術講演会に参加された皆様にご協力いただき実態調査を実施しましたので、結果について以下のとおり報告いたします。

### 〈調査方法〉

平成29年7月30日の学術講演会に参加した歯科衛生士を対象に実態調査を実施いたしました。調査項目としては、現在の就業状況（勤務先、業務内容等）、希望する情報、研修内容、仕事についての悩み、歯科衛生士会への要望等でした。160名の方から回答をいただきました。

### ＜調査結果＞

#### 1. 参加者の状況

##### ①参加者年齢（図1）

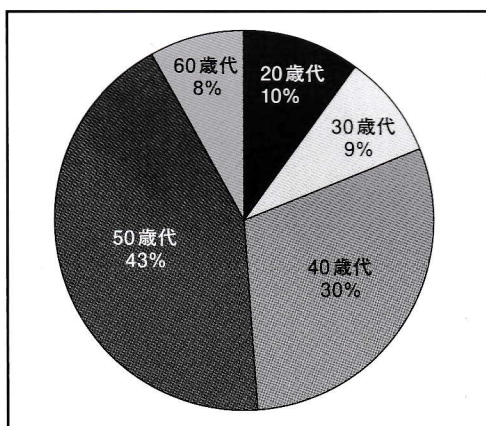


図1

##### ②就業状況（図2）

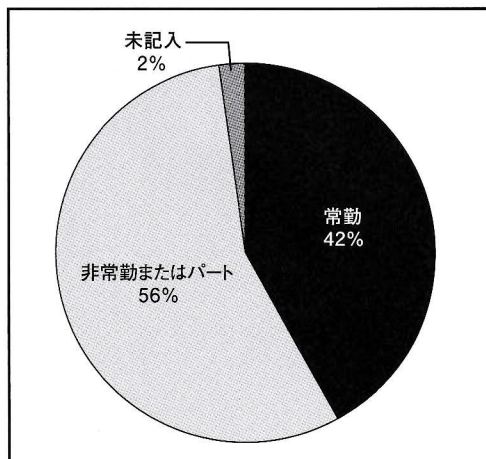


図2

#### 2. 研修会について

研修会の受講動機は、160人中133人が自己研鑽との答えでした。（図3）

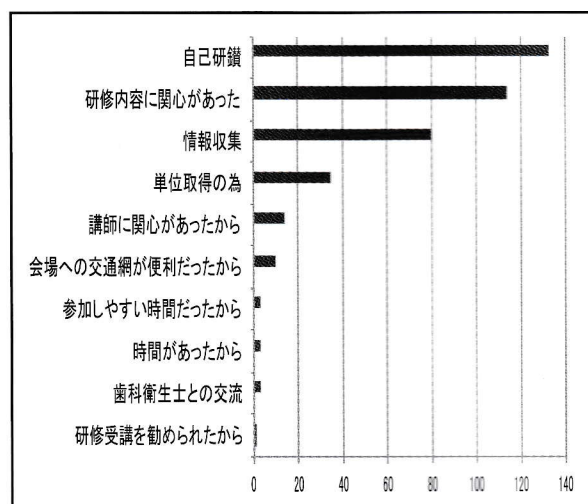


図3

研修会の情報収集としては、歯科衛生士会からののお知らせを情報源にしているとの回答が139人でした。また、次にインターネットでの情報となっていました。（図4）

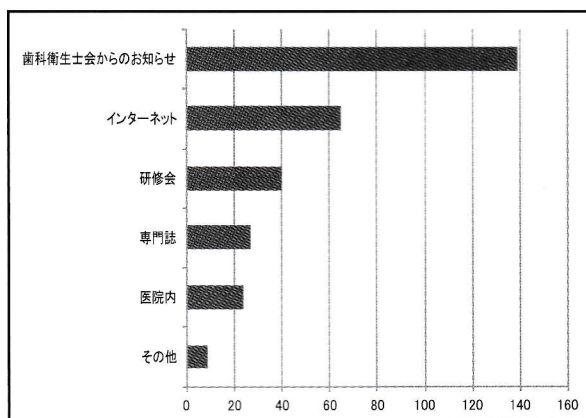


図4

受けた研修内容としては、摂食嚥下が79人、口腔機能が72人、全身疾患が62人、口腔ケアが48人と高齢者歯科に関するものが多かったですが、歯周治療に関しても50人の方が希望されていました。また研修会に限らず欲しい情報としては、歯科医療情報の希望が83人と最も多かったです。

### 3. 悩んでいること

今、悩んでいることという設問に関しては、複数回答ですが、業務内容・業務量、職場の待遇で悩んでいる方が多かったです。(図5)

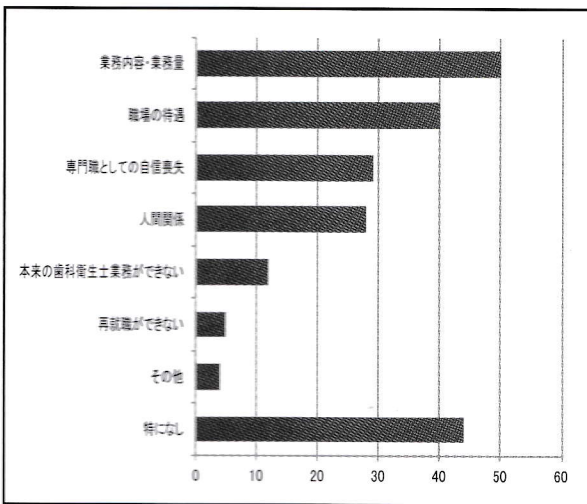


図5

### 4. 福利厚生で望むもの

本会に希望する福利厚生では、歯科衛生材料(歯ブラシなど)の割引の希望が多かったです。(図6)

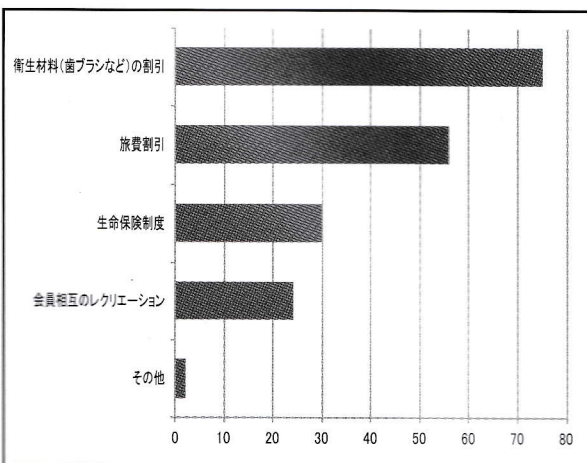


図6

### <まとめ>

今年度は、研修会時にアンケートをとることで、研修会の内容や歯科衛生士の仕事に関する悩み等を確認いたしました。

紙面の都合上、アンケート結果をすべて掲載することはできませんでしたが、ホームページにて、全アンケート結果を公開いたします。

このアンケートの回答者の年齢の内訳は40歳以上が80%を越えていますが、業務形態は常勤が42%、非常勤またはパート勤務の方が56%でした。

今回の調査の結果をこれからの研修会の企画運営に活用いたします。

また、研修会の情報は機関誌等の歯科衛生士会からのお知らせで得ている方が87%もあり、これからも機関誌等での発信を充実させる必要があると思われま。

仕事の悩みは業務内容・業務量、職場の待遇が多かったのですが、専門職としての自信喪失という回答も22%あり、会としてそのような悩みにも対応できる体制が必要と思われま。

これらの結果を踏まえ、本会としては今後歯科衛生士業務の様々な課題に取り組み、より良い歯科衛生士の資質の向上に寄与するため、今回の調査も参考にしながら研修会等の運営も検討して参ります。

最後になりましたが、協力いただきました皆様に厚くお礼を申し上げます。